
自然共生サイト認定者からの書面ヒアリング結果

2023年10月13日

環境省 自然環境局 自然環境計画課



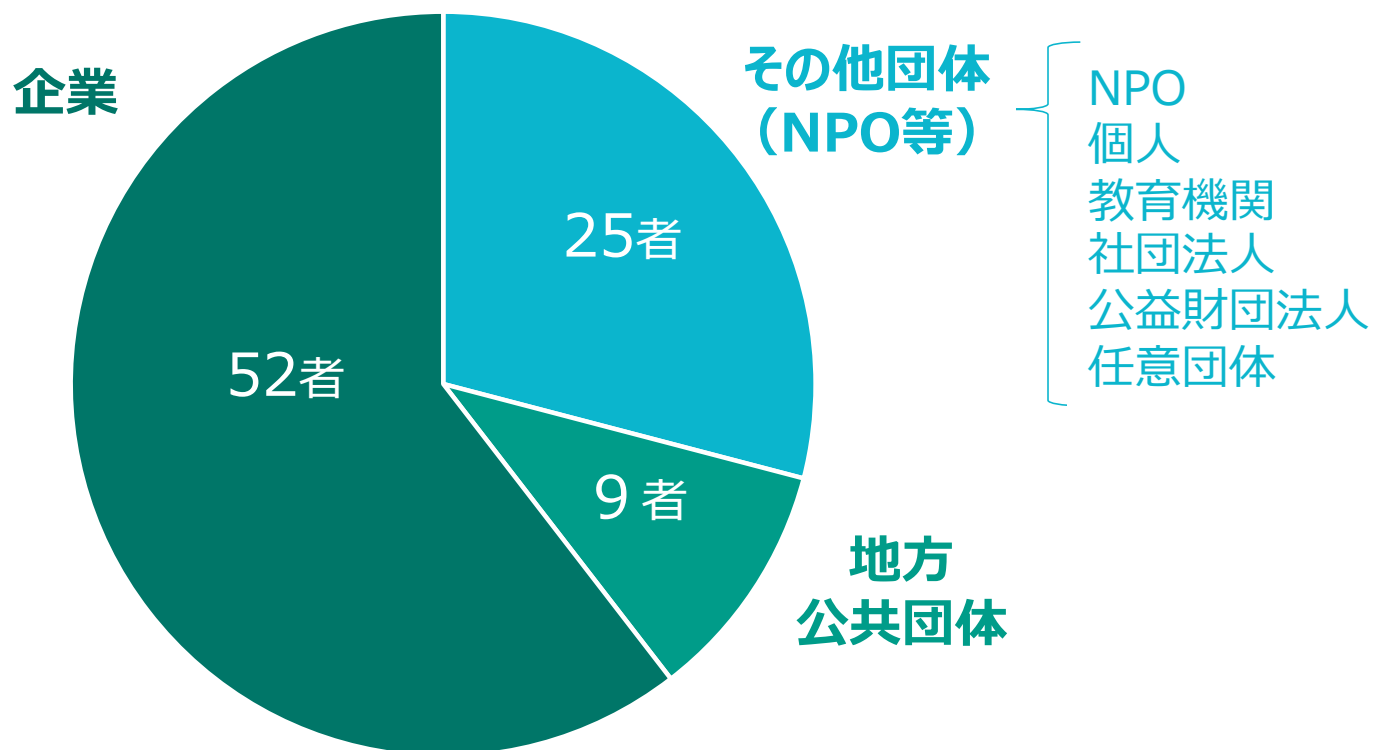
ヒアリング概要

■ ヒアリング実施期間

9/21 (木) ~ 9/29 (金)

■ ヒアリング対象者

令和5年度前期に自然共生サイト認定を受けた86者



ヒアリング結果

1. 生物多様性保全の捉え方

○多くの者がチャンスと捉えており、チャンス又はリスクと捉える理由の例は下記のとおり。

	チャンス	リスク
企業	<ul style="list-style-type: none">• 自然資本を有している• ESG経営面でアピールとなる• 継続してきた活動が社内外で評価される	<ul style="list-style-type: none">• 管理コストが増大する• 原材料調達が難しくなる• 開発がしにくくなる
地方公共団体	<ul style="list-style-type: none">• 企業等からの投資など、経済的・人的資本の獲得が期待できる• これまでの取組を更に推進する機会となる	—
その他団体	<ul style="list-style-type: none">• 活動の重要性を説明しやすい• 企業・地方自治体の参入が期待できる	<ul style="list-style-type: none">• 科学的知見に基づかない保全手法が望まない結果を生むおそれがある

2. 生物多様性にかかる取組の重要性の変化

- 多くの者が生物多様性にかかる取組の重要性が増してきたと感じており、理由の例は下記のとおり。

企業

- **TNFD**等の動きがある
- 企業間でも「**生物多様性**」というワードを耳にする機会が増えた

地方
公共団体

- 基本計画で「**生物多様性**」等のワードが目立つようになった
- 事業者からの**相談が増えた**

その他団体

- 企業・自治体の参入が増え、**専門知識を持ったNPOによる支援の重要性が増した**

3. 自然共生サイトの活用

○ 今後の自然共生サイト認定の活用については、下記が幅広く期待された。

○ 地域に発信し、**サイトの価値を知ってもらう**

○ 企業／地域／組織の**価値向上**

○ **社会・地域貢献**

○ **環境関係情報の開示**

○ 社内教育

○ その他

市としての**OECD施策のモデル地**として、取組みの推進に活用

4. 自然共生サイトの評価項目 1/2

○自然共生サイトを活用していくにあたり、以下の点が評価されることが望ましいと意見。

企業

- **生物多様性の評価**

生物多様性保全の価値の客観的評価、保全の管理水準の評価、生態系ネットワークへの貢献、生物多様性の価値の該当基準（自然共生サイト）

- **生物多様性以外の貢献**

CO2吸収源としての評価、水源涵養機能、防災機能、観光、地域貢献、環境教育、地域への自然へのふれあいの場の提供

- **金融や投資家側から求められる開示への対応**

TNFDや有価証券報告書等、金融・投資家向けに使用できる評価、開示プラットフォームとの連動

- **その他**

一般消費者が理解しやすいような評価方法

地方 公共団体

- **生物多様性の客観評価**

- **生物多様性保全以外の貢献**

CO2吸収源としての評価、環境教育、自然のふれあいの場としての価値など市民レベルで実感できる点、防災機能、市民協働で管理に取り組んでいることの評価、サイトや周辺地域の歴史や経緯も含めた保全の意義

4. 自然共生サイトの評価項目 2 / 2

○自然共生サイトを活用していくにあたり、以下の点が評価されることが望ましいと意見。

その他団体
(NPO等)

- **生物多様性の評価**

周辺地域と比較した時の生物多様性保全上の価値

- **生物多様性以外の貢献**

環境教育、地域関係者との連携、生物多様性に配慮した農林水産業や公園社寺としての価値、管理の努力（関わる人の多さ、頻度等）

- **その他**

ナショナル・トラストのように「保全の永続性」担保の観点から土地所有権等を取得している点、一般の人にもわかりやすい言葉での説明

5. 自然共生サイト制度への要望・期待

○現行の自然共生サイト制度について、**以下の要望、期待が挙げられた。**

企業

- 自然共生サイトの**価値をアピール**してほしい。
- **複数サイトを一括申請**できると良い。
- 優れた活動が埋没してしまうことがないよう、**認定の仕方を工夫**するべき。
- 保全状況の指標として、**モニタリングを実施**したいが、**経済的負担**が大きい。
- 認定後の**管理やモニタリング**について、**経済的な助成**が必要ではないか。
- 専門知識がないと申請が困難であり、**企業担当者のスキルアップ**が課題である。

地方 公共団体

- 30by30や自然共生サイトの**認知度向上**に努めてほしい。
- **インセンティブの設置・充実**を期待したい。

その他団体 (NPO等)

- **参考事例やベストプラクティス**を公表してほしい。
- 認定されたサイトへの**人的、経済的支援**を期待する。
- 里地の保全において**過疎化・高齢化**が最も大きな課題であるため、**本認定により人材確保につながる施策**を設けてほしい。

6. 生物多様性保全活動推進のため必要な施策

○下記のとおり、**経済的なインセンティブ**や**税制優遇**などの金銭面の施策に加え、**伴走支援**その他の支援策も幅広く重要と認識。

○**経済的インセンティブの付与**

○**税制優遇**

○**専門家、地方環境事務所による助言等の伴走支援**

○**保全活動を支援したい者とのマッチング**

○**望ましい保全活動・手法に関するガイドライン等の作成**

○**認定サイト同士のネットワーキング**

○**その他**

- 生物多様性の保全活動に対する**社会的評価向上**
- **自治体への浸透**
- 一般人にも納得できる**平易な議論**

7. 活動を進めるにあたって関連する法令手続き

○自然公園法

－モニタリング機器の設置、木竹の伐採等

○外来生物法

－駆除にかかる手続きや個体の処理等

○種の保存法

－捕獲許可、保護増殖事業計画がない種の保全活動等

○その他関係法令、条例等